

H. P. Report

ASPについて (1)

「ASP」という言葉がインターネットビジネスで表舞台に出できています。「ASP」はアプリケーションサービスプロバイダということはわかるのですが、いったいその中身はどのようなものでビジネスとしてどうなっているのでしょうか。なんとなく今のうちに特集をしたほうがよいかもかもしれませんのでいろいろな資料を組み合わせせて連載してみたいと考えています。

本来「ASP」は業務用アプリケーションの機能をネット経由で期間貸しするサービスのことで、これまでのアプリケーションの販売のように購入して使用するものではありません。最もインターネット的な利用としてはアプリケーションの本体をサーバ上に置き、必要なアプリケーションを必要なときにダウンロードしたり、端末側からデータをサーバに送ることによって処理を行うもので、端末側にはインターネットエクスプローラなどのブラウザソフトがあれば使用することができます。はじめはグループウェアなどが中心でしたが、今はワープロや表計算などいろいろなものがあり、ASPとしては財務会計などの基幹アプリケーションもあります。これらのアプリケーションはすべての機能を契約によって使用するのではなく、必要なときに必要な機能をオプションで組み合わせ使用することができ、一般のアプリケーションのように誰にでも対応できるような最大公約数的な膨大なものにはなりません。

サーバでアプリケーションを管理し、端末で利用したりデータの入出力を行うASPですが、このようなものがこのごろはじめて出てきたものではありません。少し前にはネットワークコンピュータ（NC）がありました。アプリコットにもLS200という機種があったことを覚えているでしょうか。NCは一時期華々しく話題になり、各社から対応機種が発売になりました。NCはLAN上で使用する端末で、端末上で使用するアプリケーションは極端に言うところOSまでがサーバからダウンロードするもので、FDDも装備されていない本当に単なる端末でした。NCはアプリケーションをサーバからすべて一旦ダウンロードする必要があり、あとは普通のコンピュータと同じで、OSを含むアプリケーションとデータをサーバですべて管理しようとするもので、端末にはFDDやCD-ROM、HDDまでもが必要としない管理しやすいものでした。ただ、LANを前提としたためか、その当時の技術では使用するにはレスポンスの問題などがあり、いつのまにか消えていってしまいました。また、もっと前のホストを中心としたシステムもホストですべてのアプリケーションを管理するということから同じようなものと考えられます。

思い起こしてみると基幹システムを含めて、端末の性能が向上していくにしたがって、ホストを中心としたものから負荷分散のためのクライアントサーバへと変化しましたが、今またアプリケーションや端末ハードウェアの管理のしやすさからサーバを中心とした以前のホスト中心のシステムに近いシステムになってきています。インターネットがこれほど普及してくると低速度でも十分なアプリケーションを送ることのできる技術が進歩し、ハードウェアに依存しないアプリケーションでも十分な性能を作ることができるようになってきました。その中で出てきたのが「ASP」ですが、実際にどの程度普及するものかはまだ未知数のところがあり、特に日本のように独自の方法にこだわる傾向の強いところでは難しいところがあるようです。今は1つの「ブーム」のような状態なのかもしれません。確かに「NC」も一時ブームだったような気がします。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 7月3日号

特集 汎携帯主義

→無線ネットワークでBluetoothが注目されているが、その携帯の機能が7mm角の1チップになるといろいろなものに搭載されることが始まる。見えなくても携帯がその中に入った機器の出荷が始まるかもしれない。

○日経エレクトロニクス 7月17日号

特集 光ディスク絶体絶命

→光ディスクとしてはCD、MD、DVDなどがあり、これからもっと普及するように考えられていたが、HDDの大容量と低価格化、デジタル放送、高速ネットワークの構築などの普及によって光ディスクの要らない状態になるかもしれない。次世代光ディスクはどうなるのか。

○日経パソコン 7月10日号

特集 Windowsカスタマイズ計画

→自分にベストのWindowsを作るにはどうするか。不要なものの削除、工夫ひとつで快適操作などのカスタマイズの方法。

特集 CD-ROMをHDDに格納する

→普通CD-ROMで使用する辞書や地図など。著作権もあり安易にコピーするわけには行かないが、効率的に作業するためにCD-ROMの内容をHDDに格納する方法の公開。

○日経オープンシステム 7月号

特集 止まらないシステムへの挑戦

→インターネットサービスは一般から直接システムにアクセスするため基幹システムよりも信頼性が問われ、止まらないシステムが求められる。止まらないシステムへの特効薬はなく、基本的な対策の積み上げしかない。

注目 ディレクトリサービスは導入すべきか

→ディレクトリサービスは本来ユーザ名、パスワード、アクセス権限などを全社共通で管理するデータベース。完全に機能すれば管理コストを提言することができるが、現在はまだ対応製品がそろっていないため切ることが限られている。

○日経ネットビジネス 8月号

特集 検証！日本版ドットコムの実力

→日本のネットワークビジネスは急成長を遂げている。大企業からベンチャーまであらゆる企業がネットビジネスに参入しようとしている。現在のキーワード（e-マーケットプレイス、ASP、iモード、ネットベンチャー、B to E、女性サイト、オークション）と各業界の状況。

NEWS 「ネットでビール販売を！」経団連が規制談話で要望書

→経団連が政府に出したインターネットの商取引に対する規制緩和の要望書には、酒類の販売、保険商品の販売から書類の電子化など規制緩和というよりも現実的な状態への変化が進んでいる。

○DOS/V magazine 8月1日号

特集 Intel 815Eマザーの挑戦

→マザーボードのCPUとPCIバスなどをつなぐためのチップセットして440BXというチップセットがあり、その後継となるはずだった820の誤算のために登場する815E。はたして後継となりうるか。

特集 今さら聞けない? Windows 2000の謎

→Win98の上位となりうるWin2000。セットアップからWin98ユーザの疑問、Win2000の応用までQ&A形式での特集。

特集 Windowsカラーキャリブレーションガイド

→ディスプレイで見た色とカラープリンタの色が違う。せっかく色調整しても出来上がりとちがえば調整することはできない。ディスプレイの色とカラープリンタの色を合わせるカラーキャリブレーションのやり方は。